

関係者からの意見陳述に対する 構成員からの意見・質問 (まとめ)

注：4月7日現在

1 日本放送協会様

該当箇所	懇談会構成員からの質問・意見
<p>3 頁 【質問】</p>	<p>2 年前、日本からの国際的な映像情報発信の強化をめざし、大きな期待を担ってスタートした映像国際放送ですが、二年たった今、当初目標としていたものに比して見込み違いであったこと、当初考えていたよりうまくいっていることなどがあればご開陳ください。【村上座長代理】</p> <p>この震災および原発事故については、どのような姿勢で、どのような情報発信をしていただいていますか。【村上座長代理】</p> <p>東北関東大震災後、わが国からの映像情報発信はますます重要性が高まっていくと思います。この震災後の映像情報発信をどのように展開していこうとしているかについてご教示ください。【村上座長代理】</p> <p>インターネットでの情報発信をスタート当初から取り組んでおられますが、これについてはどのように自己評価していますか。改善すべきと考えることがあれば述べてください。【村上座長代理】</p> <p>有償サービスにするか無償サービスにするかは、どのような基準で決定しているのでしょうか。【小塚構成員】</p>
<p>4 , 7 , 8 頁 【質問】</p>	<p>数多くの国際販売実績を有する上で、どのような要件（コンテンツオリティ、価格、販売チャネル、プロデューサー人材能力、放送局ブランド等）が国際展開のカギとなってきたとお考えでしょうか。またそのようなケイパビリティは貴局内で持続的に維持し得るものなのでしょうか。【古嶋構成員】</p> <p>他国事業者との共同制作を実施するにあたり、貴局の関連人材の育成方針/バックアップはどのようなものなのでしょうか。【古嶋構成員】</p> <p>コンテンツの国際展開にあたり、国に期待する具体的な要望はどのようなことでしょうか。【古嶋構成員】</p>
<p>5、6 頁 【質問】</p>	<p>特にアジアにおけるNHK番組の評価は高く、日本文化の進展に貢献していると思います。NHKニュース等NHKの放送を視聴できる国も多く、海外ではNHKの存在感が大きいと思料いたします。【三尾構成員】</p> <p>大河ドラマ等の主要な番組と地域等で制作された番組（例えば龍馬伝ですと、長崎や、高知局制作のコンテンツ等）を組み合わせたり、オンデマンドの配信コンテンツと放送番組の販売を組み合わせる等のご検討や、また、コンテンツの販売方法やその内容について、アジア諸国別に検討されていること等ありましたらご教示いただきたいと思料いたします。【三尾構成員】</p>
<p>6 頁 【質問】</p>	<p>素材販売の際の価格は、どのように決定しているのでしょうか。【小塚構成員】</p> <p>素材化するクリップの抜き出しと編集の方針について教えて下さい（どのようなポリシーで、どんな素材を、どのくらいの尺でクリップ化しているか）。【細井構成員】</p>

該当箇所	懇談会構成員からの質問・意見
	メタデータ等の検索条件について教えてください。またダブリンコアなどのデータベース規準の対応状況やポリシーがあれば教えてください。【細井構成員】
8頁 【質問】	コンテンツの海外展開、国際販売を考えていく際に、他の企業と連携をしていくことは、重要な戦略と思われます。その際に、障害となっているのは、どのような規制・ルールなのでしょうか。【柳川構成員】
	何が変われば国際販売がやりやすくなるのでしょうか。【柳川構成員】
8頁 【意見】	経済界の動きとコンテンツの輸出を一体して行うことが有意義であるとの点は全く同感です。【三尾構成員】
---	日本製コンテンツのより積極的な海外展開に向け、制度上のNHKの業務範囲の拡大をするとすれば、NHKとしては、どのようなことを期待/希望されているのでしょうか。【音構成員】
	今後もODA予算等による番組の海外向け無償提供は必要と思われるが如何でしょうか。【末吉構成員】
	番組の海外向け有償提供の促進のためには、どの点についての支援が日本政府に望まれるのでしょうか。【末吉構成員】
---	コンテンツの国際展開にあたり、同局のこれまでのロール/経験は他事業者よりもアドバンスなものであると想定しています。同局の知見やナレッジを共有することを期待します。【古嶋構成員】

2 TBSテレビ様

該当箇所	懇談会構成員からの質問・意見(4/7現在)
2, 3 頁 【質問】	TBSが番組の海外販売において、成功してきた理由はどこにあると考えていますか。【柳川構成員】 今後、ネット配信を考えていく場合に、外国人の視聴可能性を考えて多言語化をはかっていくことが必要と考えているか否か。【柳川構成員】
2, 5 - 8 頁 【質問】	数多くの国際販売実績を有する上で、どのような要件（コンテンツクオリティ、価格、販売チャネル、プロデューサー人材能力、放送局ブランド等）が国際展開のカギとなってきたとお考えでしょうか。またそのようなケイパビリティは貴局内で持続的に維持し得るものなのでしょうか。【古嶋構成員】 国際展開にあたり、番組販売とフォーマットセールが中心ですが、それ以外の領域でどのような収益機会を考えているのでしょうか。また、そのような収益機会を実現するにあたり、どのような阻害要因（展開国規制、社内ケイパビリティ等）があるのでしょうか。【古嶋構成員】 他国事業者との共同制作を実施するにあたり、貴局の関連人材の育成方針/バックアップはどのようなものなのでしょうか。【古嶋構成員】 コンテンツの国際展開にあたり、国に期待する具体的な要望はどのようなことでしょうか。【古嶋構成員】
4 頁以降 【質問】	放送事業者の中には、海外展開は、売り込みに成功した場合も結局コスト倒れになり、収益に結びつかないという意見もあるが、TBSが収益事業としても成功しているのはなぜだと考えますか。【小塚構成員】 オンデマンドサービスが伸びてくると、海外番販に代替すると考えられますか。仮にそのようになっていった場合、直販になるのでコストが下がると考えられますか。それとも、マーケティングのため、中間業者が介在する必要性は残る（オンデマンドへの移行が進むと中間業者を介在させる仕組みが難しくなるので、かえって困難が増す）と予想されますか。【小塚構成員】
9 頁 【質問】	IPTVや携帯電話へのコンテンツの制作に関する貴社の方針及び今後の見込みをご教示いただきたいと思います。【三尾構成員】
1 8 頁 【質問】	iPadやiPhoneやアンドロイド携帯等のグローバルなプラットフォームは、使いようによっては、日本のコンテンツを一気にグローバルな市場にリーチさせる可能性を持っていると考えられます。この面では、どのような展開を考えておられますか。そのような展開をしようとする時の課題は何ですか。【村上座長代理】
--- 【質問】	海外での日本製コンテンツの戦略的な露出アップのため、放送局、映画会社等、日本の映像コンテンツ事業者が、共同で運営組織を立ち上げることはできないのでしょうか。【音構成員】

該当箇所	懇談会構成員からの質問・意見(4/7現在)
	今後もODA予算等による番組の海外向け無償提供は必要と思われるが如何でしょうか。【末吉構成員】
	番組の海外向け有償提供の促進のためには、どの点についての支援が日本政府に望まれるのでしょうか。【末吉構成員】
--- 【意見】	既存の放送事業においては、空中波でのファーストランで完結するビジネスモデルが基本であり、オンデマンド事業を含めたコンテンツの2、3次展開や海外マーケットでの展開など、それとは異なるスキームが立ち上げ難い状況が、日本の放送業界に依然として強くあるのではないのでしょうか。【音構成員】
	ビジネスベースで同局の実績は非常に高いものと評価します。ビジネス機会を阻害する要因について、同局の意見を参照したいと考えます。【古嶋構成員】

3 凸版印刷様

該当箇所	懇談会構成員からの質問・意見(4/7現在)
4 頁 【質問】	文化財保存や活用、以外のビジネスインキュベーションを進められている中で、手応えや可能性を感じておられる方向やビジネスモデルがあれば教えて下さい。【細井構成員】
5 , 1 2 頁 【質問】	デジタルアーカイブの産業領域における活用機会や収益インパクトはどのようなものでしょうか。【古嶋構成員】
1 2 頁 【質問】	<p>デジタル文化財創出事業は非常に大きい可能性を持った事業だと思いますが、御社の技術は、国内における競合状況はどのようなものでしょうか。また、国際競争力はどのような状況でしょうか。ご教示ください。【村上座長代理】</p> <p>デジタル文化財保存は、国際的に共通な課題だと思われませんが、国際標準化にむけた動きについてご教示ください。また、この面ではどのような課題があるのでしょうか。【村上座長代理】</p> <p>基盤整備として、国からの支援・推進策としてどのようなことを期待されていますか。特に、デジタルキュレーターの育成/活用を掲げられていますが、支援策への期待や他の機関との連携など、現時点では具体的にはどのようなことをお考えでしょうか。【音構成員】</p> <p>「当分野における知的財産の法的整備」という御指摘は、著作権のことでしょうか。それとも、新しい権利の創設などをお考えでしょうか。【小塚構成員】</p>
--- 【質問】	<p>作成されたVRコンテンツの著作権の権利は貴社が保有されておられるでしょうか。権利の帰属主体、権利関係について、ご教示いただきたいと思います。【三尾構成員】</p> <p>アーカイブ化されたコンテンツの二次利用に関するお考えをお聞かせください。【三尾構成員】</p> <p>デジタル文化財を海外展開していくにあたっては、どのような手法が考えられますか。その際、障害となりうるのは何でしょうか。【柳川構成員】</p>
--- 【意見】	<p>デジタルキュレーターの育成に関しては、日本においても一部の大学で議論が起きております。クリエイターの育成に向けた支援や機関づくりの構想はこれまでも何度か浮上しましたが、諸外国と比較して日本は上手くないと認識しています。他方、海外の先進的な事例としては、米国のナショナル・アーカイブのように、大学と上手に連携している事例や、フランスのINAのような国主導での事例もあります。長期的なビジョンの下、実業界、教育界、行政が連携して日本の実情にあったデジタル人材の育成の枠組み作りが求められていると考えます。【音構成員】</p>

該当箇所	懇談会構成員からの質問・意見(4/7現在)
	<p>コンテンツのデジタルアーカイブは文化/教育用途として大変意義あることではあるが、ビジネス活用においては限定的な効果であると想定しています。本件については本懇談会とは座を別にして検討・討議したい。【古嶋構成員】</p>
	<p>もしも上記質問（事務局注：上記質問）に対する回答が「新しい権利」を求めるものであれば、知的財産権の専門家を集めて、十分な検討を行うに値すると思います。【小塚構成員】</p>
	<p>素晴らしいコンテンツであり、日本文化の発展のために非常に有用なものであると思料いたしますので、今後有意義に利用できる仕組があればと存じます。【三尾構成員】</p>
	<p>デジタル文化財は今後、幅広く美術品等も含めて重要になってくると思われる。【柳川構成員】</p>

4 全日本テレビ番組製作社連盟様

該当箇所	懇談会構成員からの質問・意見(4/7現在)
1 頁 【質問】	<p>コンテンツ制作力の強化のためには、健全かつ適正な製作取引がなされる環境が不可欠と思います。総務省で開催された「放送コンテンツの製作取引の適正化の促進に関する検討会」において、2009年にはガイドラインが作成されておりますが、その後、経済環境やメディア状況の変化を受け、見直し等の必要性を考えておられますか。【音構成員】</p> <p>一昨年に、下請法のガイドラインを総務省で策定（事務局注：平成21年2月「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン」策定、同年7月第二版策定）しましたが、その効果は現れていますでしょうか。【小塚構成員】</p> <p>ガイドラインの策定時には、フォローアップを適宜行う必要性が確認されていたと思いますが、その時期が到来しているとお考えでしょうか。【小塚構成員】</p>
1 or 3 頁 【質問】	<p>視聴率等にとらわれずに、内容的に優れた番組を作成するために最も必要なものは何か、お考えをご教示いただきたいと思います。【三尾構成員】</p> <p>単にテレビ番組の二次利用ではなく、初めから多目的な「真のコンテンツ」とはどのようなものを指すのか、また多目的の具体的内容について、ご教示いただきたいと思います。【三尾構成員】</p>
3 頁 【質問】	<p>いわゆるクォーター制の導入を求められていますが、これは、制度的に数値を定めることをお求めでしょうか。それとも、現行、NHKが行っているような自主的な目標値の開示を、他の事業者にも求めているということでしょうか。【音構成員】</p>
3 - 5 頁 【質問】	<p>放送事業者による内製比率が高まることによって、プロダクション各社が受ける収益上のインパクトは如何なるものでしょうか。また、ATP等の団体による放送事業者との団体交渉にて、交渉を阻害する要因はどのようなものがあるでしょうか。【古嶋構成員】</p> <p>プロダクション各社の「真のコンテンツメーカー」へ自走するために、「新しいウィンドウ方式の確立」とありますが、具体的にどのようなイメージをお持ちでしょうか。【古嶋構成員】</p> <p>プロダクション各社は市場分散型の産業構造であり、一社あたりの取引費用が高いため、同業種内のM&Aなどによる経営シナジー強化は重要な論点とはならないでしょうか。【古嶋構成員】</p>
4 頁 【意見】	<p>コンテンツ振興政策の中で、製作者の地位の向上や事業環境の改善は、重要なポイントであると思います。ただし、「資金面などの国の支援」が長期的に見て製作者のためになる施策であるかは、慎重に考える必要があると思います。【小塚構成員】</p>
--- 【質問】	<p>放送事業者が発注元の大半を占める現状の番組制作会社のビジネスのあり方からの脱却を意識されて書かれたペーパーと拝見しましたが、より自立的な事業展開を可能とするための政策的な支援としては、上記、クォーター制以外に、どのようなものを期待していらっしゃるのですか。【音構成員】</p>

該当箇所	懇談会構成員からの質問・意見(4/7現在)
	制作プロダクションの活力を上げていくために、政府の支援以外にどのようなことが役立つと考えますか。【柳川構成員】
--- 【意見】	<p>放送事業者によるコンテンツ外部発注比率の数値目標化の国による推奨に伴い、コンテンツアイデアや番組企画の競争が削がれ、プロダクションによる自走化を遅らせる要因となり得るのではないのでしょうか。【古嶋構成員】</p> <p>他構成員のコメントにもあったように、コンテンツレイヤでは完全競争が前提であり、人材面の育成/ファイナンススキームの確立に国として関与すべきであると考えます。【古嶋構成員】</p>

5 日本音楽著作権協会様

該当箇所	懇談会構成員からの質問・意見(4/7現在)
6 頁 【質問】	<p>流通におけるユーザ利便性と権利者への収益還元がトレードオフとなると考えているのでしょうか。また両立が可能であるとするならば、どのような仕組みを用いることで実現できるとお考えでしょうか（ 補足：権利者への利益還元を優先すれば、DRM、機器認証など流通上でのモニタリング、ユーザ負担が増加。逆も然り）。【古嶋構成員】</p> <p>一部のアーティスト（権利者）やマネジメント会社では楽曲での回収から、興行やマーチャンダイジングによる回収へと収益構造をシフトしつつあると聞かすが、このような流れに対してどのようにお考えでしょうか。【古嶋構成員】</p>
--- 【質問】	<p>海外での違法ダウンロード対策につき、ご教示いただけますと幸いです。【三尾構成員】</p> <p>P 2 P による違法ダウンロード対策につき、ご教示いただけますと幸いです。【三尾構成員】</p> <p>海外展開を考えた場合にどのようなアイデアをお持ちでしょうか。【柳川構成員】</p> <p>不正流通防止以外に、コンテンツの国際競争力強化に役立つことは何かお考えでしょうか。【柳川構成員】</p>
--- 【意見】	<p>権利者への適正かつ公正な分配は非常に重要なイシューであり、創造活動におけるモチベーション源泉のひとつであるため最適な制度設計が必要であると考えます。ただ、本件については様々な総務省内外の検討会等で永らく討議されてきたと思われるため、現状における論点/課題など一定の棚卸しが必要であると考えます。【古嶋構成員】</p>

6 全般的な事項その他

該当箇所	懇談会構成員からの質問・意見(4/7現在)
<p>---</p> <p>【意見】</p>	<p>他構成員もおっしゃられていたように、コンテンツ制作分野では競争が促されるべきであり、直接的な国の支援/関与は避けるべきであると考えます。一方でコンテンツ流通ウィンドウの多様化、アジア/新興国をコアとした多地点化が進展する中で、ビジネスマインドを持って製作/販売が可能な国際プロデューサー人材の育成を産官学挙げて如何にサポートすべきかを本懇談会の 이슈としたい。併せて、そのようなポテンシャル人材が特定企業への集中や、国外企業への逃避を回避すべく、活動可能な場の提供およびインフラストラクチャー設計（例えば、バイオポリスやシリコンバレーのように国内外のアイデア/企画が自律的に集まる仕組みや、ファイナンススキーム等）が必要であると考えます。【古嶋構成員】</p> <p>他構成員もおっしゃられていたように、コンテンツ制作分野では競争が促されるべきであり、直接的な国の支援/関与は避けるべきであると考えます。一方でコンテンツ流通ウィンドウの多様化、アジア/新興国をコアとした多地点化が進展する中で、ビジネスマインドを持って製作/販売が可能な国際プロデューサー人材の育成を産官学挙げて如何にサポートすべきかを本懇談会の 이슈としたい。併せて、そのようなポテンシャル人材が特定企業への集中や、国外企業への逃避を回避すべく、活動可能な場の提供およびインフラストラクチャー設計（例えば、バイオポリスやシリコンバレーのように国内外のアイデア/企画が自律的に集まる仕組みや、ファイナンススキーム等）が必要であると考えます。【古嶋構成員】</p> <p>第1回の会合で発言しようと思いつながら失念しておりましたが、海外展開のためのインフラとして、翻訳者・字幕制作者等の育成(相手国側の人材育成を含む)は、国の役割として考えられると思います。【小塚構成員】</p>